

第1回 浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等検討会 議事概要

1. 検討会概要

○日時：令和6年10月4日（金）10:00～12:00

○場所：海上技術安全研究所本館1階1A/オンライン

2. 議事概要

○事務局からの説明

- ・ 議題1 令和6年度事業の進め方について
- ・ 議題2 令和6年度事業の概要について
- ・ 議題3 将来検討すべき論点・課題の整理
- ・ 議題4 その他

○主なご意見

以下のようなご意見を踏まえて、事業を進めることになった。

（議題2）

- ・ 係留システムのモニタリング手法、リスク評価に基づいた検査手法は、国内の実証事業の活用、石油・ガス分野の経験等を参考にして、できるだけ早くに技術が確立できるよう、各年度のアウットプットイメージを明確にしながら進めてほしい。
- ・ 係留システムのモニタリング手法では、将来の運用を想定して、隣接する浮体の軌跡も参考できないか検討してほしい。
- ・ 洋上風力の設置船、メンテナンス支援船の需要を分析するにあたり、将来的に取り組むべき課題として、ブレード交換などの大規模修繕のような港・作業船等が複雑に関係するテーマであることも念頭に入れていただきたい。
- ・ 洋上風力の設置船、メンテナンス支援船の需要を計算する際の導入見通しは、低位と高位の両方を併記して議論するように進めていただきたい。
- ・ 日本の海域の特性を踏まえ、生物付着のデータは、海域に応じた基準値を提案できるよう、データの蓄積の枠組みを期待する。

（議題3）

- ・ A-3 短期の実海域実証における荷重計算の検討は、海外の事例等を踏まえて日本としてのスタンスを決めることが重要。国内のルール等を踏まえて議論できるようにしたい。
- ・ A-6 条件付きで安全率等を下げた施設での実海域実証の検討は、原案でご了解をいただいたものとする。